



令和3年12月7日

中央区立月島第一幼稚園

ひまわり組担任 堀江 千春

降園前の学級活動で、絵本や紙芝居を見るのが大好きなひまわり組。ある日、『おむすびころりん』の絵本を読むと、「おむすびころりん、すっとんとん！」と絵本を見ながら自然に声が出ている姿が見られました。そこで、学級のみんなで「おむすびころりん」のお話ごっこをして遊んでみると、大喜び！動物になって表現する楽しさやストーリーに沿って動くことを楽しんでいました。

うきうきステージでは、「ひまわりぐみ おむすびころりん」の劇ごっこを見ていただきます。生活や遊びの中で友達とのつながりを感じ始めて一緒に遊ぶことを楽しんでいる姿から、劇ごっこの中で同じ役の友達と一緒に動いたり、言葉を言ったりする場面を取り入れました。

劇ごっこを通して、一人一人が自分なりに表現することを楽しみながら、友達とのつながりを感じ、学級のみんなどと一緒に取り組む楽しさやうれしさを感じてほしいと思っています。



～「ひまわりぐみ おむすびころりん」のあらすじ～

ひまわり村には動物たちが元気に暮らしています。天気の良いある日のこと、動物たちがおむすびをもって広場に遊びに来ます。

広場で遊んだ動物たちがおむすびを食べようとする…！！さて、この後どうなるのでしょうか。

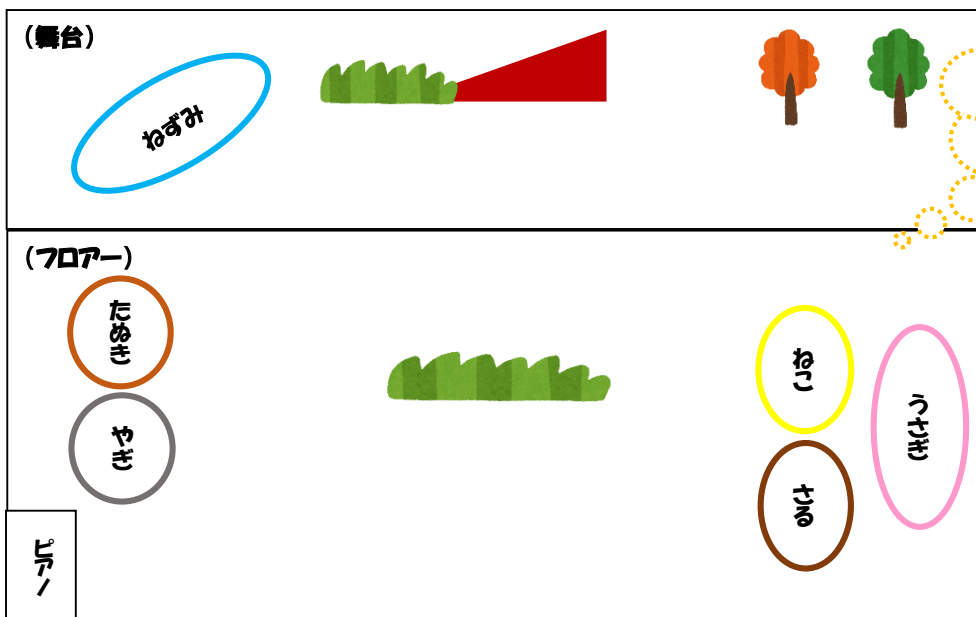
日本昔話『おむすびころりん』の絵本をもとに、アレンジを加えてお届けします。どうぞお楽しみに♪



「ひまわりぐみ おむすびころりん」のお話に親しめるように、ペープサートでお話をしました。お話を聞いた後は、友達と一緒にペープサートを使って、再現して遊ぶことを楽しんでいました。



舞台図



舞台とフロアを使って、表現をします。舞台の上では、友達と一緒に言葉を言ったり、遊んだりします。

子どもたちの見どころ！こんなところにご注目ください！

☆まるで本物みたい！動物の表現☆

ねずみ、ねこ、たぬき、さる、やぎ、うさぎの動物になって登場します。劇遊びを繰り返し楽しむ中で、毎回違う動物になる子、お気に入りの動物を繰り返し楽しむ子など、様々な姿が見られました。ちょこちょこ動いたり、ピョンピョンとジャンプをしたりするなど、動物の特徴を自分なりに表現しています。当日の役を子どもたちと相談して決めましたので、お子さんに聞いてみてください。

☆友達と一緒に☆

同じ役の友達と気持ちを合わせて、言葉を言います。少しずつ、友達と声を合わせて、大きな声で言えるようになってきました。子どもたちと相談して、ねずみはお話を進め、他の動物は普段遊んでいる遊びを披露することにしました。ねずみとそれぞれの動物の楽しいやりとりにもご注目ください。

また、劇の最後にはみんなで「ともだち賛歌」を歌います。曲の2番、3番は「ひまわりぐみ おむすびころりんバージョン」となっています。子どもたちが元気に歌う姿をぜひ見ていただきたいと思います。お楽しみに♪



☆素敵なお面や小道具、大道具☆

自分のなりたい役が決まって、うきうきステージがあることを伝えると、「お面を作りたい！」「おむすびがもっとあった方がいいんじゃない？」などとこれまでの経験から、子どもたちなりに必要なものに気付く姿が見られました。そこで、当日は、自分で作ったお面をかぶり、動物に変身します。お面は、教師が画用紙で作った土台に、子どもたちが動物の耳や目、鼻、ヒゲなどの形に紙を切り、のりで貼って作りました。それぞれ、素敵なお面ができました。

また、劇ごっこに出てくる、おむすび、さかな、きのこ、バナナ、とうもろこし、にんじんは動物ごとに集まって作りました。同じ動物の友達を探して、一緒に作ろうとする姿も見られるようになり、小道具作りを通して、同じ役の友達を意識し、グループとしての意識も高まってきました。大道具の草木や坂も教師と一緒に色を塗ったり、紙を切って貼ったりして作りました。子どもたちの思いがこもった小道具や大道具にもご注目ください。



今回のうきうきステージでは、子どもたちがお話のイメージを楽しみながら自分なりに表現をしたり、友達と一緒に取り組む楽しさを感じたりすることを大切にしながら進めてきました。おうちの人に見てもらうことを楽しみにしていますが、大勢の人に見られていることを意識し、うれしさとともに、興奮したり、緊張したりして、ドキドキすることもあるかもしれません。担任として、子どもたちの思いを受け止めながら、その子らしさを発揮できるように、応援しながら進めていきたいと思っています。おうちの方の笑顔が子どもたちの力になると思いますので、あたたかいまなざしと、たくさんの拍手で応援をお願いします。